

2017（平成 29）年度 にこてらす 事業報告

就労継続支援 B 型事業

本年度も前年度同様に農作業を中心に事業展開をしてまいりました。利用者、職員にとっては本当に目の回るような忙しい一年でした。ですが、その成果が就労支援事業収入に現れております。取り組んでいる農作物は水稲、にんにく、玉ねぎ、アスパラガスその他、企業の委託作業で野菜の植付及び収穫作業を受けております。耕作規模は年々拡大し、3月31日現在では約40,000㎡になりました。

就労支援収益の向上を目指し拡大してまいりましたが、かなりの尽力が必要となっております。利用者一人一人と職員とが一丸となり対応してまいりました。

利用者を見ると作業技量や作業に対する意識が向上しています。主体的に作業に取り組む一人一人が必要とされ働くことに生きがいを感じる。それが象徴されるような一年でした。その結果、就労支援事業収益は向上し、利用者工賃においても一人当たり月額約1,000円増やすことができました。

このように慌ただしい一年ではありましたが、利用者自らが力を発揮し充実した一年であったと思います。

1. 就労支援事業について

(1) 就労支援作業品目

ア 牛ふん堆肥の袋詰め	なかやま牧場様、下請け作業
イ 畑作業	アスパラガス、玉ねぎ、にんにく栽培、水稲
ウ 清掃	企業内の清掃作業
エ 委託作業	農作業の請負（にんにくの植え付け）

(2) 就労支援事業収入

	就労支援収入	増減比率
2017年（H29年度）	10,890,598円	18.5%
2016年（H28年度）	9,186,814円	7.8%
2015年（H27年度）	8,517,974円	26.8%

(3) 利用者工賃について

年 度	工賃総支給額	増減比率	一人あたり月額
2017年（H29年度）	4,752,050円	10.2%増	36,000円
2016年（H28年度）	4,310,016円	5.3%減	35,041円
2015年（H27年度）	3,991,932円	13.4%増	33,266円

支給総額は前年度と比較して大幅に増額となりました。利用者は1名増えましたが前年度と比較して利用者一人当たり月額1,700円強の増額をすることができました。

2, 利用者の状況について

(1)定員

利用者定員 10名

平成29年4月1日時点 11名 (男10名 女1名)

平成30年3月31日時点 11名 (男10名 女1名)

(2)開所日数 267日/年 (28年度265日)

利用率 98.2% (28年度98.4%)

延べ利用日数 2,886日 (28年度2,660日)

開所日数、延べ利用日数とも向上しておりほとんどの方が休むことなく通所している。

3, 運営の状況

(1)自立支援費等収入

年 度	訓練等給付費収入	増減比率	利用数
2017年 (H29年度)	24,638,580円	13.7%	11名
2016年 (H28年度)	21,665,270円	—	10.16名
2015年 (H27年度)	21,506,400円	12%	10名

(2)本年度取得した加算及び報酬単価の一覧

サービス名		報酬単価	人数	取得年月日
①	就労継続支援B型サービス費 (I)	5,840円	10人	
②	食事提供加算	300円		
③	送迎加算(II)	130円		2015.4.1
④	福祉専門職員配置加算 (III)	60円		2013.4.1
⑤	目標工賃達成指導員配置加算	890円		2013.4.1
⑥	施設外就労加算	1,000円	7人	
	福祉・介護職員処遇改善 (I)		10人	
	①～⑥の合算×0.038%			

(3)職員の状況 平成30年3月末

職 名	職員数	備 考	国 基準
管理者	1名	サービス管理責任者兼務	1以上
サービス管理責任者	1名	管理者 兼務	1名以上
職業指導員	2名	常勤職員 2名	2.26名以上
生活支援員	1名	契約職員 1名	
調理員	1名	契約職員 1名	1以上
目標工賃達成指導員	1名	常勤職員	1名以上
合 計	7名	※兼務重複	

生活介護事業

利用者の利用人数については大きな変化はなく一年が過ぎました。同じ生活介護利用者でも福祉的就労を強く希望している方と福祉的就労においても難しくなってきた方が在籍しております。個々の年齢や障害状況は様々ですが、利用者の平均年齢が 40 歳を目前に少しずつ前述が表れてまいりました。

また、成人習慣病対策については家族等との連携をはかり、食生活のできる範囲での改善や小さな積み重ねですが運動を日中事業で取り入れるものの効果的な対策は講じることができておりません。

事業所としてできることは限りありますが、生き生きとした人生を送れるよう今後も対策を練ってまいります。

障害を持っていても豊かな生活を送るため、私たちは適切な支援が常時提供できる体制をこれからも取り組んでいきたいと考えています。

1, 利用者の状況について

(1)利用者定員について

利用者定員 10 名

利用者現員 平成 29 年 4 月 1 日時点 12 名 (男 9 名 女 3 名)

平成 30 年 3 月 31 日時点 12 名 (男 9 名 女 3 名)

(2)障害支援区分 平成 30 年 3 月末

障害支援区分 6	障害支援区分 5	障害支援区分 4	障害支援区分 3
4 人	6 人	2 人	0 人

障害支援区分の平均 5.11 (平成 28 年度 平均 5.00)

(4)開所日数 266 日/年 (28 年度 264 日)

出席率 97.5% (28 年度 97.3%)

延べ利用日数 3,116 日 (28 年度 3,040 日)

今年度は利用者の入所・退所はありませんでした。開所日数、出席率、延べ利用日数とも若干ではありますが増えております。

2, 運営の状況

(1)自立支援費等収入

年 度	訓練等給付費収入	増減比率	利用者数
2017 年 (H29 年度)	42,352,490 円	1.7%	12 名
2016 年 (H28 年度)	41,628,610 円	2.3%	11.83 名
2015 年 (H27 年度)	40,686,010 円	32%	11.5 名

※増額の要因として・・・前年度より 1.7%の増額。利用日数を前年度より 2 日増やしたため延べ利用日数が増えた。

(2)報酬単価の一覧

サービス名		報酬単価	対象人数	取得年月日
①	生活介護サービス費 区分 6	12,780 円	12 人	
	生活介護サービス費 区分 5	9,590 円		
	生活介護サービス費 区分 4	6,800 円		
	生活介護サービス費 区分 3	6,100 円		
②	食事提供加算	300 円		
③	人員配置体制加算 (I)	2,650 円		2015.4.1
④	福祉専門職員配置等加算 (II)	60 円		2013.4.1
⑤	送迎加算(II)	130 円	主に 5 人	2014.7.1
	福祉・介護職員処遇改善 (I)	①～⑤× 0.031%		

(3)職員の状況

職 名	職員数	備 考	国 基準
管理者	1 名	サービス管理責任者兼務	1 以上
サービス管理責任者	1 名	管理者兼務	1 名以上
生活支援員	8 名	常勤職員 5 名 契約職員 3 名	7.2 名以上
看護師	1 名	契約職員	
送迎職員	2 名	契約職員	1 以上
調理員 兼務	1 名	契約職員	1 以上
合 計	14 名	※兼務重複	

※職員数の増減は無し。

3. 就労支援事業について

(1)就労支援作業品目について

- ア 牛ふん堆肥の袋詰め なかやま牧場様、下請け作業
- イ 配達(牛ふん堆肥の個人売り) 堆肥の配送
- ウ 資源回収 廃品等資源の回収
- エ さをり織り さをり織り作業
- オ 加工品 ドレッシングの製造
- カ 洗濯 作業にて使用する作業着の洗濯

(2)就労支援事業収入

年 度	就労支援収入	増減比率
2017 年 (H29 年度)	4,670,408 円	△4.6%
2016 年 (H28 年度)	4,891,477 円	△2.5%
2015 年 (H27 年度)	5,013,336 円	0.9%

(3)利用者工賃について

年 度	工賃総支給額	増減比率	一人あたり月額
2017年（H29年度）	2,894,702 円	5.5%	20,102 円
2016年（H28年度）	2,742,872 円	△1%	19,324 円
2015年（H27年度）	2,762,379 円	25.9%	20,927 円

就労支援事業収入は生活介護事業において減収となる。しかしながら利用者工賃は作業時間が増えるに比例して一人あたり月額が 778 円増えた。

4. 作業以外の活動について

作業以外にも毎週水曜日を使い様々な活動に取り組んでいます。

◎創作活動を実施しております。毎年、法人のイベントであるルクーユ展に作品を出品するため創作しております。その中で利用者の作風に変化が見られています。点が線変わる方、丸に模様がついた方と表現方法が変わってきております。少しずつではありますが、面白い作品が増えております。

作品展示場所及び期間

11月18～19日 ルクーユ展

11月13～19日 とっておきの美術展 福山美術館

12月19～24日 あいサポートアート展 福山美術館

利用者2名 佳作入選

◎ハンドベルへの取り組み

ハンドベル演奏にも取り組んでおります。利用者は希望者を募って演奏しておりますが、23名中17名が毎回希望をされます。

出演日時及び場所

4月15日 スプリングバザー にこにこ会駐車場

4月16日 音のおもちゃ箱 福山リーデンローズ大ホール

12月16日 クリスマスコンサート 福山市神辺文化会館小ホール

3月11日 音のおもちゃ箱 福山市神辺文化会館大ホール

◎行事等への参加

自閉傾向や知的障害を持つ方々には言語が十分理解できない方や、その障がいの特性として次の活動や予定など見通しが持ちづらい人がおられます。

その方々へ絵カードや写真、文章など利用者の理解が深まる提示方法で予定を伝えていきます。その結果、行事への参加希望が増えると同時に楽しんでいる様子がみられるようになりました。職員においても視覚での情報伝達方法が重要であると認識できており、ペーパーのみだけでなくPCなどを使用して利用者の理解度を高める取り組みができました。

共通事項について (就労継続支援B型・生活介護)

1. 利用者支援について

作業や日中活動へ見通しを持って活動していただけるよう個々に状況応じて個別の情報提供を行いました。

特に行事や初めて体験する作業等に使用した。

例) A3サイズのホワイトボードを活用して ①本日の活動 ②場所 ③移動に使用する車両 ④同行する職員の写真の提示。

場所(風景)や作業内容の写真を提示。

2, 作業中の支援について

利用者一人一人に役割を持っていただけるよう利用者の状況に応じて役割を設定した。役割の設定については利用者毎の支援計画に位置付けて取り組みを行った。

例) 機械の使用について写真にて提示。→利用者との一対一で使用方法の指導を実施。→使用中の見守り→作業後の評価。を一連の取り組みとして位置づけ、技術を習得するまで支援した。

3, 健康管理の業務

(1) 協力医療機関 協力医院 よしたかクリニック

(2) 健康診断の実施

歯科検診 6月21日

健康診断 11月10日(視力・聴力・血液・心電図・レントゲン、尿検査)

(3) 血圧及び検温の実施毎朝、測定。計測結果を用いて家庭との連携を図った。

(4) 感染症対策

インフルエンザ流行時期には(1月~3月) 手洗い、消毒・うがいの励行。

4, 昼食の提供の実施

別紙参照

5, 防災訓練の実施 12月27日 3月28日 避難・誘導・通報等

6, 職員の質の向上について

(1) 外部研修への参加 旭川荘療育アカデミー

障害者総合課程の受講等 5月~11月毎週(土)

(2) 法人内勉強会への参加 毎月1回開催

(3) 法人内事業所間実習 共同生活ほいーるへ 1月 1週間

にこにこ会へ 12月 1週間

(4) 外部研修への参加

7, その他

(1) 外部からの実習者

利用希望者 1名 7月4~7日 B型希望

利用希望者見学 2名 9月、3月 各それぞれ1名

(2) 他法人職員の見学 3回 10月 1月 3月

(3) 助成金の取得

6月 日本郵便株式会社様より Wキャブ購入費として1,530,000円

9月 合人社財団様よりお米保冷庫として600,000円